

ノズル 吹出到達距離 L [m]が長い場合のチェック

拡散半径R[m]と許容吹出口設置間隔 M [m]の算出

		数値代入			備考
ノズル到達距離	L[m]	0			
吹出口の口径(直径)	D[m]	0			
拡散半径	R[m]	0.00			$R=(L \cdot \tan 15^\circ + D)/2$
許容吹出口の設置間隔 M[m]	横吹	0.00	重直吹	0.00	

吹出口の口径 D[m] の算出

		数値代入			備考	
ノズル到達距離	L[m]	0				
吹出口の設置間隔	M[m]	0				
拡散半径	R[m]	横吹出	0.00	重直吹出	0.00	横吹 $R=(M/2) \times \sqrt{2}$ 重直吹 $R=M/2$
吹出口の口径(直径)	D[m]	0.00			0.00	
						$D=2R-L \cdot \tan 15^\circ$

注 ・冷暖房兼用の場合、冷房時、暖房時の風量、吹出個数、風向を変化させる等の措置を講ずること。

・吹出口の口径(直径) D [m] が負(マイナス)の場合、吹出範囲に充分な余裕があることを示します。

[参考データ]

$$R = \{ L \times \tan 15^\circ + D \} / 2$$

ここに、 R: 拡散半径[m]

L: 到達距離[m]

D: 吹出口の口径(直径)[m]

ノズルの決定

- 配置と型番の想定。(型番の想定は、概算チェックシート、吹出口、吸込口の算出参照)
- 「吹出口の口径(直径) D [m] の算出」により想定型番の確認を行なう。(風量及吹出風速確認)

